

※本ニュースリリースは、長崎空港ビルディング株式会社、日本ユニシス株式会社の共同ニュースリリースです。重複して配信される場合がありますことをご了承ください。

2020年12月21日

報道機関各位

長崎空港ビルディング株式会社
日本ユニシス株式会社

長崎空港ビルディング、日本ユニシス

with コロナにおける、地域に根差した安全・安心な空港運営を実現！ クローロジー型危機管理情報共有システム「災害ネット」の運用をスタート

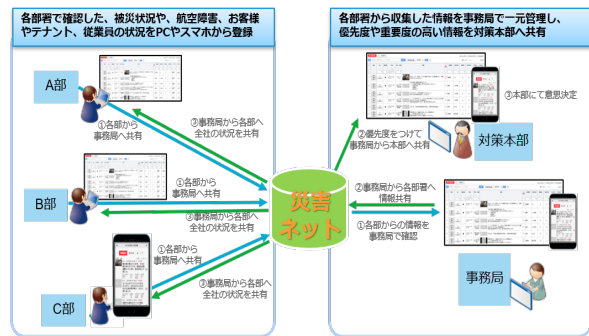
長崎空港ビルディングは、日本ユニシスが提供するクローロジー型 危機管理情報共有システム「災害ネット」を2020年12月25日より運用開始します。

「災害ネット」は、災害情報を時系列に沿ってホワイトボードに書き出す手法（クローロジー）をコンピューター上で表現し、今、何が起きているのかをリアルタイムに把握できる情報収集・共有ツールです。これまで被災時にホワイトボードに列挙していた文字情報だけでなく、画像などを、パソコンやスマホから簡単に登録でき、全社で情報を一元管理できるクラウドシステムです。

長崎空港ビルディングと日本ユニシスは、「災害ネット」を通じ、災害時における被災状況の早期把握・早期対策を可能にし、地域住民、空港利用のお客さま、テナント従業員や、空港スタッフにとって、より安全・安心な空港運営を目指します。



<災害ネット概念図(例)>



【背景】

近年、九州地方では、台風や豪雨をはじめとした自然災害が数多く発生しており、さらに今年は新型コロナウイルス（COVID-19）対応もあり、企業や団体は地域住民、お客さまの安全確保を最優先としたニューノーマル時代のBCP対策が求められています。大村湾内に位置する長崎空港は、災害時における空港滞留者への安全と健康を最優先とした各種対策を講じるため、密を回避しながらの自然災害や交通障害時の早期情報収集と管理・共有が重要な課題となっていました。

【導入の目的と期待効果】

従来の対策本部は、各部署からの電話や無線で入った大量の情報を整理し、全社に共有する作業に多大な時間を要していました。長崎空港ビルディングは、情報整理・共有の迅速化を通じ、より早期に適切な意思決定と対策を図ることを目的として「災害ネット」を導入しました。この導入によりリアルタイムでの情報の収集と一元管理、共有を可能とし、早期対策による安全・安心な空港運営を実現します。

また、昨今の新型コロナウイルスの流行下においては、災害対応における本部員の罹患リスクやクラスター発生リスクから、3密を回避した本部運営の検討が急務となっています。「災害ネット」は、本部員の所在が異なるリモート環境においても、対策本部にいる感覚で、情報共有を行うことができます。

【今後の取り組み】

長崎空港ビルディングは、自然災害や交通障害のみならず、ターミナルビル内で発生するイレギュラー事象の集約、課題の共有など社内での情報共有基盤としての「災害ネット」活用を行っていきます。

今後も長崎空港ビルディングと日本ユニシスは、「災害ネット」を通じ、危機管理体制を強化し、より安全・安心な空港づくりに取り組んでいきます。

以上

■長崎空港ビルディング株式会社

長崎空港ビルディングは、空港のターミナルビル施設運営、館内案内サービスをはじめ、ショッピングモールやレストラン運営、航空会社のグランドサービスや旅行業など、空港に関する様々な事業を展開しています。

これからも安全・安心・快適を追求し、「あたたかみのある、楽しい空港づくり」を通じて、地域に貢献できる空港を目指します。

<https://www.nabic.co.jp/>

■日本ユニシス株式会社

日本ユニシスグループは、日本初の商用コンピューターによって今日の情報社会を拓き、以来60年以上にわたりシステムインテグレーターとして顧客課題を解決し、社会や産業を支えるシステムを構築してきました。

この経験と実績をバックボーンに、業種・業態の垣根を越えさまざまな企業をつなぐビジネスエコシステムの中核となり、顧客・パートナーと共に、社会を豊かにする新しい価値の創造と社会課題の解決に取り組んでいます。

<https://www.unisys.co.jp/>

■関連リンク：

- ・ クロノロジー型 危機管理情報共有システム 「災害ネット」
<https://www.unisys.co.jp/solution/biz/disaster-net/lp/>

- ・ NewsPicks (ソーシャル経済メディア)
「限りなくシンプルに。教訓から生まれた BCP 支援「災害ネット」」
<https://newspicks.com/news/4755534>

- ・ AMP (ビジネスインスピレーションメディア)
「1分1秒を争うからこそ、限りなくシンプルに。
教訓から生まれた BCP 支援「災害ネット」のこだわりとは。」
<https://amp.review/2020/03/25/unisys-disaster-net/>

- ・ NewsTV
「リスク対応に効果的！情報共有ツール『災害ネット』」
http://news-tv.jp/_ct/16959998

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/